

【昨年度までの取り組み】

- ・令和4・5年度は育成する資質・能力を「表現する力・思いやる力・挑戦する力」とした。
- ・今年度は以下の児童の実態をふまえ育成する資質・能力を「挑戦する力」に焦点化して取り組む。

【児童の実態】

- 異学年でも仲良く思いやりをもって接することができる。
- 授業や集会で自分の思いを話すことができる。
- 係や委員会活動で任されたことはやり遂げようとする。
- 自分から挑戦してみよう、やってみようとする児童は少ない。
- 自主的に考えて行動することに弱さがある。

【学校の教育目標】

笑顔いっぱい 江名子の子

○まなびあい ○たすけあい ○みがきあい

【今年度、めざす学校像】

児童も教職員も登校するのが楽しみな学校

【育成する資質・能力】

挑戦する力

↓
願いをもち試行錯誤をしてやりぬく力

【指導で大切にすること】

- ・対話を重視する
- ・見届けを丁寧にする

〈高山市の方針と重点〉

- 方針：
郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む
- 重点：
挑戦し続けるたくましさの育成
- ①学習：
主体的・対話的で深い学びにより生きる力を育む教育の推進
- ②生活：
すべての子どもに居場所をつくる教育の推進
- ③郷土教育：
地域全体の協働による郷土教育の推進
- ④教育環境：
時代の変化に対応した教育環境の充実

委員会	重点として取り組むこと	めざす児童の姿
学 習 づくり	① 興味・関心を引き出す教材提示や問いかけ ② 効果的な「一人学び」と「仲間学び」の設定 ③ 学びや成長が実感できる評価の工夫	「やってみたい。」「もっと調べてみたい。」「 どうしてなのか、みんなで考えたい。」「 自分の考えを聞いてほしい。」
生 活 づくり	① 自分たちの生活をより良くする方法を考える場の設定 ② 仲間のがんばりに気づかせる工夫 ③ 自己肯定感や貢献感を実感させる場の設定	「どうしたら、もっと良くなるだろうか。」「 〇〇さんもがんばっている。」「 最後までやりきったからうれしい。」

【学習の高まり】

1 期	2 期	3 期	4 期	5 期
R6.4/8～5/31	6/1～8/25	8/26～10/10	10/11～R7.1/12	1/13～3/24
I 学習基本5 □鉛筆の持ち方 □背筋を伸ばした姿勢 □準備をしてチャイムスタート □丁寧に名前を書く □提出物の期限を守る				
II 1人学びで考えをもち、仲間の考えをしっかりと聞く				
III 追究の仕方を自分で決める（自己決定）				
IV 仲間の考えを取り入れ、考えを広げる・深める・新たに			V どんな力を身につけたかを実感する	

【具現のための確認事項】

- ア 安全・安心は「学校教育の基盤」→ 丁寧な対応、事故の未然防止、環境整備
- イ「居場所づくり」と「絆づくり」→ いじめの未然防止、ていねいな対話と見届け、仲間のよさ見つけ
- ウ「できた・わかった」と言える授業→ ワクワクさせる工夫、効果的な ICT 活用、ねらいの明確化
- エ 学びの底上げ→ 授業内での見届け、個に応じた家庭学習、定着を図る場や方法の工夫
- オ 特別支援教育→ 合理的配慮、個別の支援計画、UD の視点
- カ 総合的な学習の時間→ 「えーなこの町」（見て・知って・考えて・やってみよう）
- キ 地域との連携→ 地域の一員としての活動、地域人材の活用（江名子まちづくり協議会）
- ク 働き方改革→ 業務のスリム化（会議・情報配信・ICT 活用等）、出口を見通した提案
- ケ 教職員の心構え→ ① 45分でやりきる授業
② 教職員からあいさつ
③ 児童と一緒にそうじ（清々しい環境づくり）
④ ていねいな言葉づかい（児童を常に～さんと呼ぶ）
⑤ 報告・連絡・相談の徹底
- コ 本物にふれる教育→ 修学旅行、社会見学、クラブ活動、農業体験、博物館実習、短歌学習、合唱指導、礼儀作法
- サ 記念行事→ 学校開校 150 周年、江名子まちづくり協議会 10 周年
- シ 低・中・高学年チーム担任制→ 多くの目で児童を見届け、チームで相談して対応する